

校長室だより

第17号

平成31年1月9日

MOTTA I N A I (もったいない)



# あけまして、おめでとうございます！

## 天美小学校の3つの“あ”と2つの“あ”

良い習慣で、「いい知恵・いい汗・いい心」を育もう！

### 3学期がスタート…始業式で話したこと



お正月、始めてドラゴンボールを観ました。そして、始業式でその感想も含めて、子どもたちにがんばってほしいことを伝えました。ドラゴンボールを今まで、マンガもテレビも映画も観たことがありませんでした。下の息子が「この映画観たい！」と言ってくれたので、良いきっかけになりました。

私が思ったことは次の三つです。

一つ、「悟空は強い！」

二つ、「悟空はやさしい！思いやりがある！」

三つ、「やさしいから、強い！」ということです。

その強さとやさしさは、自分自身を鍛錬する自分へのきびしさがあると思いました。

そこで、子どもたちには、引き続き「天美小学校の3つの“あ”と2つの“あ”＝あいさつ、あつまり、あとしまつ、あしぺったんとあんぜん・あんしん」をがんばろうと話しました。

引き続き、地道ですが、子どもたちに、良い知恵・良い汗・良い心を育ていけるよう、学校と家庭が協力して取り組んでいきたいと思ひます。

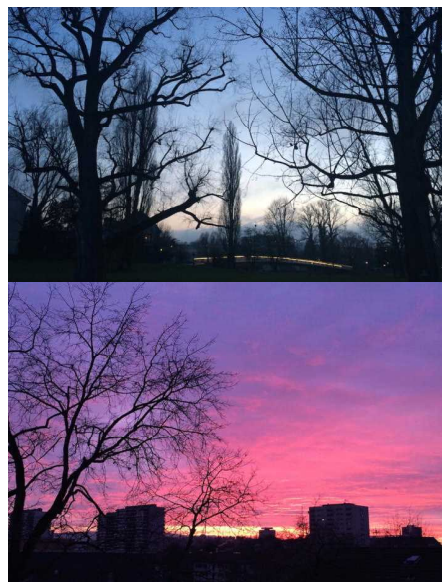
## スイス・バーゼルからの年賀Mail

昨年度より、夏休みを利用して、本校に短期留学されている方より、年賀Mailをいただきました。

夕焼けか？朝焼けか？、淡いピンクや青、紫のとても澄んだ空気が感じられる写真です。本日の、始業式でも子どもたちに提示しました。子どもから「きれい！」というつぶやきが聞こえてきました。

今回、GoogleMapsで「スイス バーゼル」とカタカナで検索すると、バーゼルの地図が、カタカナ表記で出てきました。フランスとドイツに近いスイス北部の街です。

写真からも、癒やされます。



# シクシク泣いて (4×9=36) ハッハッハ笑って (8×8=64) 笑いが少し多ければ素晴らしい人生(36+64=100)



(『ビッグイシュー』350号より)

ホームレス問題の解決に挑戦するストリートペーパー日本版『ビッグイシュー』が創刊15年を経過し350号を発刊しました。新春号として、これまで『ビッグイシュー』に投稿された記事から、心に残るフレーズを「いろはカルタ」で紹介されていました。「し」という言葉で紹介された言葉が、標題の記事。人生を100に例えて、つらいこと泣くこともある、しかし、日々笑って過ごしたい、そんな人々の当たり前の願いが見事に表現されていると思いました。

この近辺では、JR天王寺駅、アポロビル地下で販売員さんを見かけることができます。その方々が、販売にあたって次のようなことに心がけているそうです。私たち自身も参考にできることなので紹介します。

## 販売の心得

私たちは住む家を失ってしまいましたが、ビッグイシューを販売することで、もう一度立ち上がって、住居を借りて、就業し、自立できるようにがんばっています。私たち販売者は応援してくださるお客さまの期待と信頼にこたえるよう、以下の7カ条を心がけて仕事（販売）をします。

- 1 自分で販売時間を決め、その時間には必ず販売します。
- 2 お客さまに気持ちよく買っていただけるよう、いつも身だしなみをととのえます。
- 3 自分の売場を大切にします。このため、売場のごみ拾いや、周辺で仕事をする方々とお互い心地よく仕事ができるように努めます。
- 4 お客さまへは心をこめて接客し、道行く人へは朝夕のあいさつや会釈などをします。
- 5 半歩先の販売や仕事の目標を自分で決めて、もつようにします。
- 6 いつも街角で働く者として、必要に応じて道案内や身体の不自由な人の手助けをするなど、町を居心地よくするよう努力します。
- 7 路上は人々が出会う公共空間。さわやかな街角の風景となれるよう、誇りをもって仕事をします。

(写真・販売員の心得ともビッグイシュー日本HPより)

## 心に残った言葉

年末年始、ゆっくりした時間を過ごした。たくさんTVも観た。泣いたり笑ったり、そして、深くうなずかされる話もあった。特に心に残った言葉を二つ。

### 心に残った言葉 その一 情けは味方、仇は敵なり

戦国時代の武将、武田信玄の言葉。「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」信玄は、城よりも武器よりも、信頼できる「人」の集まりが何より大切だと考えた。人に情けをかけると味方になり、力や権力で押さえつけると不信感を与え反発や害意を抱くようになると思った。

また信玄は「信頼してこそ、人は尽くしてくれるもの」という言葉も残しています。人を信頼して対話することで、人の仕事や学業へのモチベーションは高まります。大切にしたい言葉です。

### 心に残った言葉 その二 企業は、人・人・人

学生時代から時々お世話になっているがんこ寿司。近年、お店の数を着実に増やしている。よく企業は、「人・物・金を有効に活用して…」といわれる中、創業者の考えが、「企業は、人・人・人」。

さらにこんな考え方がある人に諭されたそう。「泥棒が翌日に金を持ってきたくなる店」泥棒の心までも変えようとする接客業の極意のような考え方。信玄の考え方にも通じる。

離職率の高い飲食業で、高い定着率を誇っているのもうなずける。

接客業のみならず、教育にとっても・教訓的な考え方だと思いました。